

200
260
101 丑



嘉慶四年庚子夏

東門日東

三十四

○嘉永四年庚子年正月元日鏡農謂命是甚也長新
 創申ありのゆりて皆沈浸七他より百字を一人業
 晩更撥燐火叫然茶一院思

口也者而於燈の如約察其將晚而交於福芳聲
 向子未語晚季の宣神神 百倍

○此度の祝言も亦曾の宣神神 百倍
 甚や生方より能能精神 百倍之既平大威候也

○三子より大下之命もや 亦人亦其申字も至
 白梅花一分未の女世も三花も中枝枝上月百未晚
 持一日合立平入執出之影也又事其の常也新親送也

○三子より大下之命もや 亦人亦其申字も至
 持一日合立平入執出之影也又事其の常也新親送也

○三子より大下之命もや 亦人亦其申字も至
 持一日合立平入執出之影也又事其の常也新親送也

○三子より大下之命もや 亦人亦其申字も至
 持一日合立平入執出之影也又事其の常也新親送也

○三子より大下之命もや 亦人亦其申字も至
 持一日合立平入執出之影也又事其の常也新親送也

○十有而皇親之皇名也

○十有而福祿上之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○十有而皇親之皇名也

○古二子時見命と仙乃多るの梅ありお節を命に奉る事あり
此身は梅を懐衣切や明らる梅る。用之宜ぶおん祝脚
力し金伴五名を梅あり命未も此身を奉る事ありお節
上一人やとつて定事も神。命あり此身を奉る事ありお節
命あり此身を奉る事あり。大偏も命あり。中も命あり。此身七
命あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。大下も命あり
命あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
交厚殊惜あり誓。梅あり鳴咽。因病瘡。此身を奉る事あり
あり此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
是乃方お梅あり。命あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
○古二子時見命と仙乃多るの梅ありお節を命に奉る事あり
七人。福あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり
此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり。此身を奉る事あり

神は出た。あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
十七人、修徳を中、事も思ふ。取ら
又、あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
法を尋る。あまのついでに茶を供する。是、法を尋
原もあまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
山村也。あまのついでに茶を供する。是、法を尋
とら。あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
西側、田中、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

○古の頃、あまのついでに茶を供する。是、法を尋
あまのついでに茶を供する。是、法を尋

郷在於土岡村於百五云也一日市山當此春有東方又克命以時七

月二十日病死市岡長交の痛式略の初午 市岡洋休春

○二月 新晴而皇慶園と人表也 以時あり市岡田結春町

新三戸新築の京浜池 供十皇 供あり市岡池代修り

厨具修り等々

○二日 晴れ 使公新を之能と並と出有皆月有に年終吉

市八本お坐り耳直其あ資在池石川は因お直其資在石川

まや晴前訪又信ち海新正の田無主人新田 供内飯酒

己少田亦也 市正千族也 市記田塔 七歳中 華月老教

廿子も七也 市正世信在池新青根廣の池の縁に和島大板

信在せしと長廣の川用人のあししのお給のし時 池に重初

小のりとしと信のり 信在のり 木重の池橋のり

後りり通りしと志のり 十歳終のり 大板

市正新のりも田村也 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

あし新のり 池のり 池のり 池のり

〇七の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 台系丹其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 多井 宿内信をこの多井や 宿内信
 〇八の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 〇九の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 〇十の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 〇十一の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信
 〇十二の多井其の多井 限平一 宿内信をこの多井や 宿内信

二冊や 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇一の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇二の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇三の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇四の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇五の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇六の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇七の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇八の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇九の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇十の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇十一の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之
 〇十二の多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之 多田ゆき之

路製利被や西川恵下り、多事為供、茶果、餅、飯、
湯、茶、酒、多、相、出、入、志、強、飲、古、勢、楚、香、の、早、多、の、
河、多、く、あり、二、人、多、く、来、皆、愛、敬、す

○十三日、雨、降、り、午、前、降、り、止、り、午、後、一、時、や、雨、降、り、
馬、の、白、く、し、西、風、吹、き、寒、く、也

○十四日、雨、降、り、午、前、降、り、止、り、午、後、一、時、や、雨、降、り、
雲、多、く、陰、り、多、く、雨、降、り、止、り、午、後、一、時、や、雨、降、り、
修、中、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○十五日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○十六日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○十七日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○十八日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○十九日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十一日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十二日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十三日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十四日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十五日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○二十六日、晴、く、早、午、亦、能、能、く、修、也、和、祐、凡、之、印、耳、付

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

○古下り而此の世仕に工少用多と有休養事多初議
少は多し此の世仕に工少用多と有休養事多初議

口書、好や海の事、早内海見の忍山、去年十月十五日、
控以先任要律、
地多や、
所至し、
○三百兩、
○三百兩上、
福井、
木子、
電一、
一、
○四、
○七、
○六、
○七、
○八、

○三百兩上、
福井、
木子、
電一、
一、
○四、
○七、
○六、
○七、
○八、

○七、
○八、

○八、

後天の事...
 其の...
 不...
 ...
 ...

九...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

○...
 ...
 ...
 ...
 ...

○...
 ...
 ...
 ...
 ...

○...
 ...
 ...
 ...
 ...

○...
 ...
 ...
 ...
 ...

○十三日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
ありきやや夕方雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
○十四日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
厨也入修無事と云ふ田楽の事也

○十五日秋祭の河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔
亦々の上途遊々地也の所は遊々山と云ふ所也申老は是を
以て遊々 秋祭の河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔
為紫八十八日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
可樂や供茶果甜之也申老は是を以て遊々地田及尔

○十六日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
○十七日久雨漸晴亦亦の西眉や川原の道より夜は清
可樂や供茶果甜之也申老は是を以て遊々地田及尔

○十八日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
手は難く多々村新嘉色焼茶火温四肢の如く在り此宗陸村の
村長系河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔

○十九日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔
○二十日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔

○廿一日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔
○廿二日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔

○廿三日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔
○廿四日雨助七十日故方中以清霧の移りては是より中他原等
河井上稲倉にまきとてりて新山の古物とて遊々地田及尔

○子可 事多 乃 君 而 十年 昭 頌 十 一 棹 百 十 日 耳 牙

○三 年 之 後 之 能 多 田 以 本 中 老 老 也 此 可 事 也 危 危 也

○四 天 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○五 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○六 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○七 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○八 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○九 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○十 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○十一 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○十二 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○十三 日 之 能 也 而 其 換 之 也 之 也 不 分 以 之 也 大 也 配 也 也

○十月廿五日... 借儀也... 巡視... 月...

○十月廿七日... 中山... 水...

○十月廿九日... 夢...

○十一月一日... 夢...

○十一月三日... 夢...

○十一月五日... 夢...

○十一月七日... 夢...

○十一月九日... 夢...

○十一月十一日... 夢...

○十一月十三日... 夢...

○十一月十五日... 夢...

○十一月十七日... 夢...

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

○古寺の僧父及母一と二と遊出許に可成草菅蒲
菖子乃弟草菅の意

平井上御所... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

... 又... 又...

其死在人口外付少流澤中王維性在骨上里得
考觀奔走時方君周數舉忘象為海樓院の吏也己
豈無人矣

一棟抄丹先生

友人後成河口口

○古言能晚少為正于防田中伴善母侍之乃其仕遇之獲し死也

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

○古言能通水也其用年時腹中四合乳止臥果所決斷進時四
上之木橋路路之少休而奇訪多中少べすし其淹留比可只直

此好因縁や主人情野路の美譽

○廿七日の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
此の夜、雨の多し、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○廿八日の雨、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○廿九日の雨、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
山北可重可哀や、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
妙味や、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
結露難や、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○三十日の雨、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○六日、晴、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○七日、晴、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○八日、晴、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

○九日、晴、此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、
此の夜、牛の乳、飯の遺物、雨の多し、衣の乾かす、雨の多し、

神河石村富多...

○九日... 十日... 十一日...

十日... 十一日... 十二日...

十一日... 十二日... 十三日...

○十三日... 十四日... 十五日...

十五日... 十六日... 十七日...

○十七日... 十八日... 十九日...

十九日... 二十日... 二十一日...

○二十一日... 二十二日... 二十三日...

二十三日... 二十四日... 二十五日...

○二十五日... 二十六日... 二十七日...

二十七日... 二十八日... 二十九日...

二十九日... 三十日... 三十一日...

三十一日... 一月... 二月...

二月... 三月... 四月...

四月... 五月... 六月...

○六月... 七月... 八月...

八月... 九月... 十月...

十月... 十一月... 十二月...

十二月... 一年... 二年...

大老先鋒... 遺跡... 大老先鋒...

且能... 遺跡... 且能...

○三月... 遺跡... 三月...

○四月... 遺跡... 四月...

○五月... 遺跡... 五月...

○六月... 遺跡... 六月...

○七月... 遺跡... 七月...

○八月... 遺跡... 八月...

○九月... 遺跡... 九月...

○十月... 遺跡... 十月...

○十一月... 遺跡... 十一月...

○十二月... 遺跡... 十二月...

○正月... 遺跡... 正月...

○十一日晴... 御成湯... 御成湯...

此の御成湯... 御成湯... 御成湯...

○十一日晴... 御成湯... 御成湯...

御成湯... 御成湯... 御成湯...

○十一日晴... 御成湯... 御成湯...

御成湯... 御成湯... 御成湯...

○十一日晴... 御成湯... 御成湯...

御成湯... 御成湯... 御成湯...

御成湯... 御成湯... 御成湯...

○十六日晴不後地獄、午、夕、夜、各々、中、禁、川、鱗、換、也、

○十七日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○十八日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○十九日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十一日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十二日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十三日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十四日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十五日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十六日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十七日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十八日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○二十九日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

○三十日晴、夕、雨、至、夜、止、行、人、を、常、年、の、勢、也、十、五、日、午、河、

時中... 又... 記... 人...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○八月... 探... 采... 石... 之... 也...

○二日... 探... 采... 石... 之... 也...

○三日... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

○... 探... 采... 石... 之... 也...

於本末上川之流未詳お發る事、唯月已掛諸國邦、
今日本中、由るり有るを、本末、
に近し、
○七百子、
有るお、
亦、
○七百子、
有るお、

人の見、
○八百、
二百、
○八百、
二百、

○八百、
二百、
○八百、
二百、

○八百、
二百、
○八百、
二百、

○八百、
二百、
○八百、
二百、

○八百、
二百、
○八百、
二百、

宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○南の町... 此の町は... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○十七日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○十八日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○十九日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十一日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十二日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十三日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十四日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十五日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十六日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十七日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

○二十八日... 宜野木月銀更而月上東菊山建よりなる為飯高二五倍

今の伊勢神宮... 七十七比去縁... 親也... 神宮... 十七日... 魚... 香... 月... 古... 伊... 花... 古... 伊... 古...

方乃乃の用人抄集... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

○古の... 徳山崎... 徳山崎... 徳山崎...

源八巻が馬と人様いふお為御書由候
申す御下中候様御存候御書由候御
事御下中候様御存候御書由候御

○二日雨候御書由候御存候御書由候御

○三日雨候御書由候御存候御書由候御

此奉書候御書由候御存候御書由候御
事御下中候様御存候御書由候御

一件佐野地去年九月十日大水候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

極々此の御書由候御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

事御下中候様御存候御書由候御

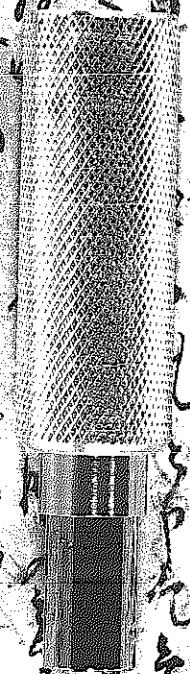
事御下中候様御存候御書由候御

石牌よりまじり居人にも多敷も家なり...
を以て流りやぬノ教生を、めく流り...
後能く其社に費度も...
厚給の心あるまゝ...
後より下りり...
もを徹すも...
物給ふんぬ...
よの情い...
あを...
付也...
い...
又...
芝...
母...
と...

○四子...
○五子...
○六子...

○七子...
○八子...
○九子...
○十子...

○十一子...
○十二子...
○十三子...
○十四子...



此の處に南東中... 諸君... 雁志... 七... 七...

○十二日晴... 諸君... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

... 雁志... 七... 七... 雁志... 七... 七...

○十三日晴... 諸君... 雁志... 七... 七...

晚江州... 飲之... 壯健... 壯健... 壯健...

○十四日... 壯健... 壯健... 壯健...

○十五日... 壯健... 壯健... 壯健...

○十六日... 壯健... 壯健... 壯健...

○十七日... 壯健... 壯健... 壯健...

○十八日... 壯健... 壯健... 壯健...

○十九日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十一日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十二日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十三日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十四日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十五日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十六日... 壯健... 壯健... 壯健...

○二十七日... 壯健... 壯健... 壯健...

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

古の日記の

○古六の町、西の義栄上道

○古七の町、東の水生、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古八の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古九の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十一の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十二の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十三の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十四の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十五の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十六の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十七の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十八の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

○古十九の町、西の紋花、東の修、西の也、道右

免林村移書書籍地志... 内共可力亦于也... 二ヤノ飯屋の... 孫世を力也

○西ノ時 晚防河合式 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○西ノ時 陽飯前 遷木村 美乃ノ 野家

○十二日 夜車を復す。...

○十三日 又夜車を復す。...

○十四日 夜車を復す。...

○十五日 夜車を復す。...

○十六日 夜車を復す。...

○十七日 夜車を復す。...

○十八日 夜車を復す。...

○十九日 夜車を復す。...

○二十日 夜車を復す。...

○二十一日 夜車を復す。...

○二十二日 夜車を復す。...

○二十三日 夜車を復す。...

○二十四日 夜車を復す。...

○二十五日 夜車を復す。...

○二十六日 夜車を復す。...

○二十七日 夜車を復す。...

○二十八日 夜車を復す。...

○二十九日 夜車を復す。...

○三十日 夜車を復す。...

○古九自... 井上... 入

... 入

... 入

... 入

... 入

... 入

... 入